

東日本大震災被災地理科教育復興支援事業シンポジウム

日時: 2016年1月28日

場所: 岩手県教育委員会宮古教育事務所

参加者: 連携した教育委員会及び小中学校教員、お茶大関係者 26名

担当: 貞光 千春（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任准教授）

竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

露久保 美夏（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

里 浩彰（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 非常勤講師）

千葉 和義（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター センター長）

実施結果:

お茶の水女子大学は平成28年1月28日に岩手県教育委員会宮古教育事務所にて、文科省特別経費「東日本大震災被災地理科教育復興支援事業」(H25-27)シンポジウムを行った。お茶大サイエンス&エデュケーションセンターと連携してきた岩手県沿岸部の教員や教育委員会関係者ら計26名が参加し、これまでの活動を振り返るとともに、今後の連携の在り方について意見交換を行った。

参加者からは「お茶大にかかわらず復興教育を見つめなおす貴重な機会となった」「支援とは何か、今後私たちができることは何かと考えさせられた」などの感想が得られた。お茶大と岩手県は、被災地支援としての一方向の支援から、新たな災害に備える教育システムを開発検証するパートナーとして、連携関係を発展させ、全国に発信することを目指し活動していく。

